

# Doxifluridine の毒性に関する研究

## 〈第5報〉 イヌにおける13週間経口毒性試験

日本ロシュ研究所 毒性学病理学部

堀井 郁夫 堀江 孝一

本間 雅裕 宇高 奎二

### Toxicity Study of Doxifluridine (5)

#### —13 Weeks Oral Toxicity Study in Dogs—

Ikuo Horii *et al.*

Department of Toxicology and Pathology, Nippon Roche Research Center

### 緒 言

5'-deoxy-5-fluorouridine (一般名doxifluridine, 以下 5'-DFUR と称す) は, fluoropyrimidine 系抗悪性腫瘍薬として Hoffmann-La Roche 社で新しく開発された5-FUの masked compound である<sup>1)</sup>。本剤は, 腫瘍細胞内に高い活性を示す pyrimidine nucleoside phosphorylase により 5-FU に変換され, active metabolite として効力を発現すること<sup>2)</sup> から, より高い有効性と安全性が期待される薬剤である。

今回, 5'-DFUR のイヌに対する13週間連続経口投与による亜急性毒性試験を行ったので報告する。

実験期間は, 1979年5月から1980年3月までである。

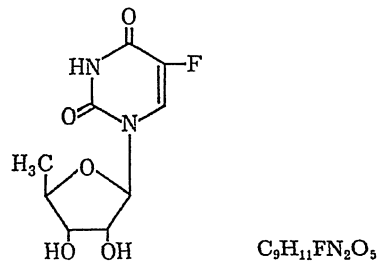


Fig. 1 Chemical structure of 5'-DFUR

### I 実験材料および実験方法

#### 1 被験薬物

被験薬物は, 化学名を 5'-deoxy-5-fluorouridine と称し, 分子量 246.20, 水に約 7% (w/v) 溶解する白色結晶性粉末である。その構造式を Fig. 1 に示す。